



※当資料は、兜倶楽部・大阪機械記者クラブ・自動車産業記者クラブにて配布しております。

2010年2月16日

報道関係各位

消防訓練用起泡剤

モリタ「CAFS用 トレーニングフォーム」を開発。

消防車の開発・製造・販売を手がける株式会社モリタホールディングス(本社:大阪・東京、代表取締役社長:中島正博、東証・大証1部)の100%子会社、株式会社モリタ(本社:兵庫県三田・東京、代表取締役社長:中島正博)では、CAFS(Compressed Air Foam System:圧縮空気泡消火装置)車での消防訓練用の起泡剤「トレーニングフォーム」を開発し、この3月より発売を開始します。

モリタでは、2007年7月に消火水量を少なく、消火活動中の消防隊員の負担を軽減できるCAFSを搭載した新型消防車「ミラクルキャプスカー」を発表しました。さらに、使用している消火薬剤「ミラクルフォーム」は、天然系薬剤を使用しているため環境に優しく、泡消えも速いという特長をもっています。

そして、開発から3年で約300台のCAFSカーが全国の消防署に導入され、高評を得ております。

現場で活躍する消防士の方は、1秒でも早く消火できるよう、あらゆる現場を想定して訓練を重ねております。その訓練において、「泡薬剤(ミラクルフォーム)は訓練に使用するには価格が高い」、「もっと、CAFS車で訓練がしたい」という声があり、そのニーズにお応えするのが弊社の義務と考え、新発想の消防訓練用の起泡剤「トレーニングフォーム」が誕生しました。

消防訓練にお役に立てるよう、薬剤質量10kg 8,000円というリーズナブルな価格に設定し、普及を図ってまいります。初年度の販売目標は3,000缶。なお、今期受注のCAFS車に関しては、1台に1缶を積載して販売します。今後も現場の方々のニーズにお応えできるものを提供してまいります。

これからも「人と地球のいのちを守る」をスローガンのもと、たゆまぬ努力と新技術の開発に一丸となって取り組むモリタグループにご期待ください。

■消防訓練用の起泡剤「トレーニングフォーム」の特長

●価格が安い

災害現場で実際に使用する泡薬剤に比べ、価格が安い。

●消泡性が良い

消泡が速く、訓練後の処理も簡単!

●環境に配慮

PFOS・PRTR法(※)に該当する物質を含まず、生分解性も良く、環境にも配慮した薬剤。



本件に関するお問い合わせ先

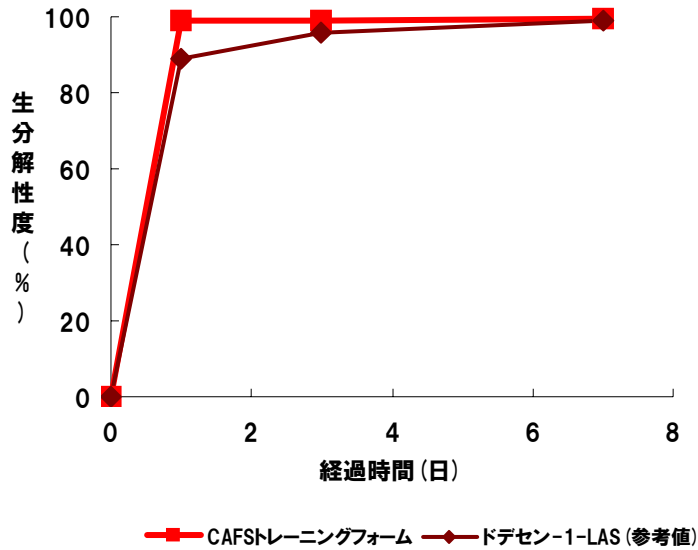
株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:浦野

TEL:03-5777-5088

e-mail: Hiroko.Urano@morita119.com

■ CAFSトレーニングフォームの生分解性度と経過時間

CAFSトレーニングフォームは、生分解性に優れ、一日後には99%分解されます。



※PFOS（パーフルオロオクタンスルホン酸塩）とは、化学物質の審査及び製造などの規制に関する法律(化審法)で、今後規制対象となることが想定される物質(有機フッ素化合物)。

※PRTR法(Pollutant Release and Transfer Register:環境汚染物質排出移動登録制度)とは、特定化物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)により制度化された新しい化学物質管理手法。

■ CAFSトレーニングフォーム成分表

主成分	アニオン系界面活性剤、他
比重	1.04(20℃)
pH	7.8(20℃)
使用温度範囲	-1℃～30℃
保存温度範囲	-1℃～30℃
使用濃度	0.5%～1.0%
粘度	10cst 以下(20℃)
薬剤質量	10kg

